

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	02-01-04-07
事務事業名	諸島地区高齢者等渡航費補助事業		
事業開始年度	平成12年度		
大項目 基本目標	健康でやさしさあふれるまちづくり	担当課(室)	日生総合支所 市民窓口課
中項目 基本施策	やさしさあふれるまちづくり	職・氏名	副参事 藤原弘章
小項目 施策	高齢者福祉	電話	72-1104

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	備前市日生町の諸島地区に居住する身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者手帳の交付を受けている方、介護予防事業対象者及び介護保険の対象になるもの
目的(何のために)	諸島地区に居住する事業対象者(高齢者等)の介護支援等を図る
行政活動(どのような方法で)	対象者の方が障害福祉サービス、介護サービスを指定事業所において利用した場合、その渡航費の一部を助成する
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	諸島地区の介護サービス等利用者が、できるだけ地理的不利益を受けないようにする

事業の実績					
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	交付件数	件	31	21	11
事業費	直接事業費	千円	240	105	148
	人件費	千円	352	380	465
財源	事業費計	千円	592	485	613
	国県支出金	千円			
受益者負担	千円				
市一般財源	千円	592	485	613	
必要人員	人	0.04	0.05	0.05	
結果指標	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	交付件数	説明			
	結果指標量	件	31	21	11
	対前年比	%	-	67.7%	52.4%
	活動コスト	円	592,000	485,000	613,000
結果指標	対前年比	%	-		
	活動コスト	円			
	対前年比	%	-		

事業の成果			
成果指標名	介護保険のサービス利用人数	式又は説明	諸島地区の介護保険の利用状況
成果指標量	17年度	18年度	19年度
	12	13	9
対前年比		108.33%	69.23%
到達目標値	現状維持	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	<input type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価<A~E>	B
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である	課題認識	
妥当性の評価	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	この事業により離島の高齢者等が福祉、介護サービスが、利用しやすくなっており離島で暮らす地域的ハンデの解消に役立っている	
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している		
行政活動	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない	この事業により離島の高齢者等が福祉、介護サービスが、利用しやすくなっており離島で暮らす地域的ハンデの解消に役立っている	
事業の意図する成果	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない		
市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である	この事業により離島の高齢者等が福祉、介護サービスが、利用しやすくなっており離島で暮らす地域的ハンデの解消に役立っている	
市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である		
コスト	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい	効率性評価<A~E>	C
	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である		
効率性の評価	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい	助成回数制限を行っているが、対象者の拡充や助成回数の増など事業見直しも行った	
	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい		
手段	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難	この事業を利用している離島の高齢者等はほぼ申請を済ませ、事業を利用している	
職	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある		
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	有効性評価<A~E>	C
	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている		
成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	この事業を利用している離島の高齢者等はほぼ申請を済ませ、事業を利用している	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている		
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	この事業を利用している離島の高齢者等はほぼ申請を済ませ、事業を利用している	
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	この事業を利用している離島の高齢者等はほぼ申請を済ませ、事業を利用している	
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている		

平成20年度の状況		説明	平成19年度の6月から要綱改正を行い、事業対象者の拡大や助成回数の増を行ったが、20年度も引き続き利用の拡大を図っていく
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で真正・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量 11	結果指標量	9

総合評価		評価区分<A~E>	C
離島で暮らす高齢者等が福祉、介護サービスなどを利用するとき、不利益が生じないようにするための助成事業であり、この事業の継続はやむを得ない			

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> 平成20年度で真正・完了	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	福祉、介護サービス事業者への周知	平成20年度	交付件数の増加